

「不便を楽しもう・未来のために」

取り組みに至る背景・事業の目的

車社会により、目的地へ早く到着し多くの事を一度に楽しむという傾向がみられるようになり、速さや便利さのみを追求しているように感じられた。南信州は県内でも交通環境が不便な地域であり、大鹿村は極めて不便を感じられる。

しかし、その「不便」をじっくりと楽しみ味わう事により、自然の偉大さを知り、癒しと変わる時間が「心のサプリメント」ではと考えた。父の「寛大な心」母の「優しく包み込む心」年寄りの「見守る心」そんな気持ちが伝わり、非日常的空間を心のホスピタルとして観光に生かしたいと考えた。

事業内容

村を訪れる人に「不便を楽しみ味わう」癒しの時間を体験してもらうため、村のおすすめスポットや歴史・自然、人々の暮らしを掲載し、南信州大鹿村の知名度向上につながるガイドブック（「信州で2番目に山奥の村紀行」）を作成、配布した。



【ユニークなネーミングのガイド本】

事業効果

「信州で2番目に山奥の村紀行」大鹿村ガイドブックの制作にあたり、村の皆さんが今伝えておきたい事柄や、このまま変わらず残してほしい事を自分たちが伝え残そうという気持ちになり、中には愉快的話があったり型にはまらないポイントなどが浮かび出てきて村民皆で作成したガイド本となった。

「大鹿村」の隠れたスポットを知ってもらい、訪れた方が村民と気軽に話しをして、「楽しさ探し」をしてもらっている。

当然「2番目が大鹿なら1番は？」こんな質問が出てくる。飯田市上や南信濃、秋葉街道から遠くは水窪・浜松までのPRも出来ることにより、地域幅が拡大し親しみを感じ取っていただけるようになった。



【取材風景】

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

観光協会を始め、村の方達に「こんな面白い事あるよ、守っている事はこれだよ、この村に住んで楽しい事はこんなこと」などを2年ほど前から収集してきた。大鹿村を知ってもらう材料の選択をし、実際に歩き取材をしてお話を伺った。伺った中の見せたい景色や物が多く、選択は難しかった。しかし「人物」を通して知っていただく方法を重点にした事で、大鹿村民の心持を伝える事が出来た事は非常に良かったと思う。

出来れば避けたい「不便」。現に避けているこの「不便」を楽しむのに「大鹿村」を選んでいただければと考える。何度も訪れていただき、南信州でなければ山奥の村でなければ、「大鹿村」でなければと足を運んでいただけるよう、さりげない気配りをしていきたい。

【選定のポイント】

地域住民の協力を得て、単なる見どころの紹介にとどまらず、地元ならではの情報や人々の声を掲載し、また村の歴史にも触れ大鹿村の魅力を地域外に向けPRしていることが評価できる。

団体名 大鹿村観光協会（大鹿村）	事業タイプ ソフト事業
連絡先 電話 0265-39-2929	事業費 1,945,755円
ホームページ http://www.oshika.info/viewpoint.html	支援金額 1,640,000円
メールアドレス ooshikakankou@osk.janis.or.jp	